



しばやま花いっぱい運動

12月5日、今年3回目の花植えが行われました。当日は寒さ厳しく小雨が降る中での活動でしたが、はにわ道沿いの花壇5箇所、芝山千代田駅前や役場前のプランターに色鮮やかな花が植えられました。

例年は一般ボランティアの方々を募集していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、前回に引き続き役員のみでの花植えとなりました。

介護関係者の方々への感謝

12月23日、コロナ禍において最前線で高齢者福祉に貢献されている町内外6施設の介護関係者の方々へ、芝山町民生委員児童委員協議会より敬意と感謝を込めてサンダーソニアとリュージュココリーネが贈呈されました。

芝山町民生委員児童委員の土屋会長は「精神的にも身体的にも大変な中で働かれている皆さまのお気持ちが少しでも明るくなれば」と話されていました。



災害協定を締結しました

12月24日、東日本電信電話株式会社千葉事業部と「災害時における通信設備復旧の連携等に関する基本協定」および「当該基本協定に基づく覚書」を締結しました。

協定では、災害による通信障害が発生した際に作業の妨げとなる障害物の除去やリエゾンの派遣による情報共有の強化など通信手段の早期復旧と提供のための事項が定められています。



あとがき

◆気持ちに少し疲れが出始めたコロナ禍において、広報の仕事を通して子どもたちから元気をもらいました。◆幼稚園発表会での可愛らしい姿、武道大会で一生懸命に戦う姿、しごとを知る見学会での意欲的な姿勢、学校給食で見せる屈託のない笑顔。◆子どもたちもたくさん我慢を強いられ、ストレスなど抱えているはずなのに、それらを感じさせずとにかく真つ直ぐで明るく元気なのです！あらためて、子どもの大きなパワーを感じ、大人の自分がすっかりしなればという気持ちになりました！◆一人一人がマスクの着用、手洗い、つがい・手指消毒、新しい生活様式の実践などを徹底していますが、感染拡大が続く状況はまさに脅威です。◆町広報担当として、感染防止対策の情報発信や呼び掛けなどを継続していきます。(D)

◆今月号で取材させていただいた小学校の給食の様子を見ていたら、自分が小学生だった頃のことを思い出しました。◆おかわりのじやんけんで盛り上がり苦手なおかずをこそり減らしてもらったり…。懐かしい思い出がたくさん浮かび、子どもたちと一緒に給食を食べたくなりました。◆ある誌面に書かれていた「不確かな情報が飛び交う社会の中で、信頼できる情報を正確かつ速やかに提供し、この信頼感のもとに住民に呼び掛ける行政広報こそ、ワフチンに勝るコロナ対策ではないか」と言われているという言葉。◆未だ収束の見通しが立たないコロナ禍において、町民の皆さんが必要としている情報を正確に分かりやすく発信できるよう、より一層頑張っていきたいと改めて感じました。(M)